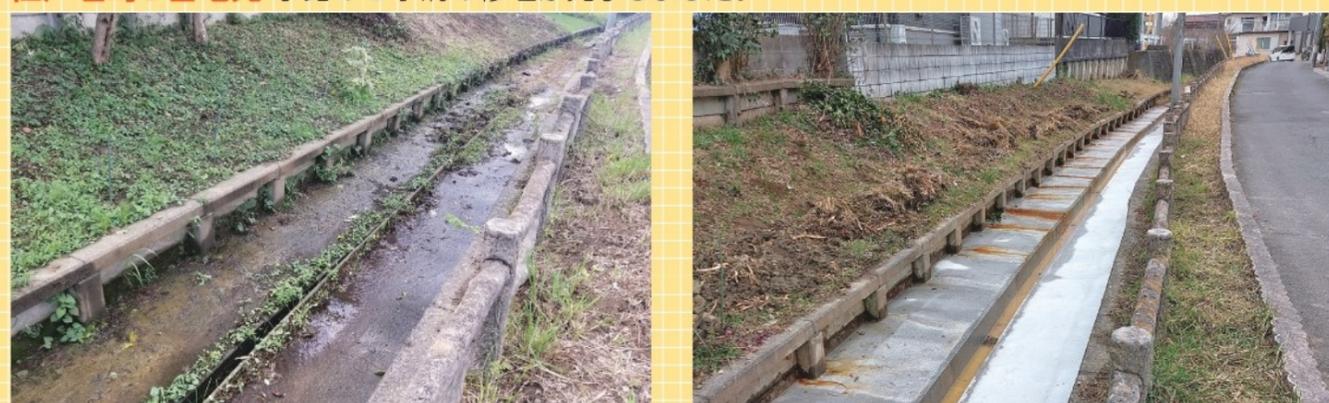


皆様からの声が「かたち」になりました!

東千葉駅入口交差点 安全対策を推進!



仁戸名町9番地先 水路のU字溝の修理が完了しました。



都川樹木伐採 千葉県千葉土木事務所により、護岸に生える樹木の伐木を実施していただきました。



市政に関するご意見、ご要望など、みなさまの声を聞かせください。

公明党千葉市議会
議員団 議会報告

森山通信 VOL.46



2月16日から3月8日まで

令和5年・第1回定例会が開催されました。

●子ども医療費助成が拡充! (26億円)

保険調剤にかかる保護者負担を無料とするとともに、少子化対策として多子世帯の負担軽減を図り、千葉県の制度改正に合わせて受診回数などが多い世帯に対する支援を実施します。(令和5年8月1日から施行)

※上限額は月ごと、医療機関ごとになります。
※第3子以降は上記にかかわらず無料になります。
※市民税所得割非課税世帯は保護者の負担はありません。

将来的には高校3年生まで対象を拡大することに挑戦します。

改正前	対象年齢	0歳から小学3年生	小学4年生から中学3年生
入院		300円	300円
通院		300円	500円
保険調剤		300円	500円

改正後	対象年齢	0歳から小学3年生	小学4年生から中学3年生
入院		300円 (11日目以降無料)	300円 (11日目以降無料)
通院		300円 (6回目以降無料)	500円 (6回目以降無料)
保険調剤		無料	無料

●乳幼児健康診査を拡充! (9800万円)

母子健康法に基づき乳幼児健康診査を実施している中で、弱視の早期発見のための3歳児健康診査(集団)において全員に屈折検査を行います。屈折検査機器を1台(140万円/台)から5台配備します。

●出産育児一時金を拡充! (2億1000万円)

安心して出産できる環境を整えるため、出産育児一時金を増額します。
令和4年度：42万円/児 → 令和5年度：50万円/児

●不登校対策を拡充! (4億円)



▶ステップルームティーチャーの配置・活用

教室に入れず登校する児童生徒への継続的な学習支援や相談を行う専任支援員として、ステップルームティーチャーを配置します。

▶スクールカウンセラー活用

不登校やいじめなどの悩みを解消するため、公認心理士などによる児童生徒へのカウンセリングや教員および保護者に対する助言・援助を行います。

小学校大規模校6校に対して 160時間 → 200時間へ
教育支援センター「ライトポート」：1人 → 2人へ

▶ライトポート機能の拡充

不登校児童への支援の充実のため全てのライトポートに小学生への支援を専門的に行う指導員を配置します。

ライトポート指導員：36人 → 42人へ

千葉市教育センターでは不登校に関し、それぞれの状況に合わせて社会的自立へのサポート事業を行っています。千葉市教育支援センター「ライトポート」は、小集団の体験を通して、社会性を育み、自分のペースで適応力を高めるための教室です。対象は小・中学生です。

▶教育センター相談機能の拡充

不登校などの諸問題解決に向けた相談機能を充実させます。

家庭訪問カウンセラー：2人 → 4人へ 来所相談カウンセラー：新たに1人配置

●がん患者支援を拡充!(1000万円)

がん患者の治療と社会参加などの両立、療養生活の向上および経済的負担の軽減を図るため、医療用ウィッグや在宅療養にかかる費用を助成します。

医療用ウィッグ購入費助成 **350件**
若年がん患者在宅療養生活支援 **60件**



●認知症対策を拡充!(1600万円)

認知症の早期発見・早期対応で、認知症の人や家族に対する支援充実のため、医療機関等との連携により、認知症簡易検査を実施します。(令和5年10月~予定) 特定健診等の受診者のうち認知症リスクが疑われる65~89歳の方。

●食のブランド「千」の確立!(2000万円)と地産地消の推進!(340万円)

市民が誇れる千葉市の「食」ブランドを確立するための認証制度の運用や旬の農産物や市内事業者の加工品の地産地消を推進します。



●千葉公園の再整備を推進!

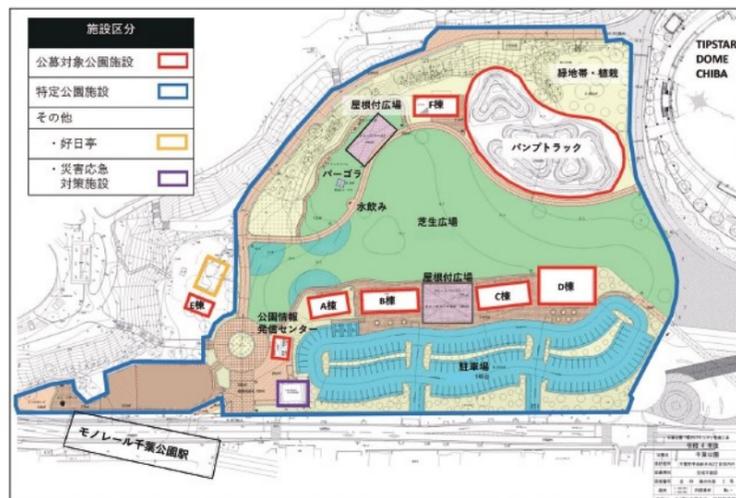
千葉公園のさらなる魅力向上のため「千葉公園再整備マスタープラン」に基づき公園全体の再整備を進めます。

- 賑わいエリア建設負担金
- やすらぎゾーンの実施設計
- 旧千葉公園体育館解体工事

千葉公園の再整備
(10億4500万円)(債務負担行為6300万円)



令和5年第1回定例会 一般議案 千葉公園内の特定公園施設



●航空消防体制を充実!(3400万円 債務負担行為18億円)



老朽化した消防ヘリコプターの機体(おと2号)を更新し(18億円)、機体操縦士と整備士の資格者を養成します。

- ①機体更新(18億円は債務負担行為)機体、装備品(ヘリコプターテレビ中継システム、ホイスト、救急資機材等)一式
⇒令和5年度に契約、令和6年度に納入
- ②資格者養成(3,400万円)
⇒令和5年度 操縦士(2人)、整備士(1人)

●障がい者施策を拡充! 重度障がい者就労支援(予算額380万円)

障がい者の社会参加を促進するため重度障がい者等が就労するにあたり、通勤や職場などで身体介護サービスを利用する際の支援を実施します。

●千葉都心整備を推進!

千葉駅周辺における官民連携まちづくり

ウォークアブル推進 予算額1000万円

千葉駅周辺エリアにおいて、「ひと中心」の空間を創出 千葉公園通り(市道弁天31号線)の道路改修基本設計などの実施

リノベーションまちづくり 予算額1000万円

遊休不動産などの既存資源を活用し地域課題を解決するまちづくりの推進

中央公園・通町公園の連結強化 予算額8億9500万円

千葉駅周辺の活性化グランドデザインに基づき、公園用地の取得など



●新市民会館の整備を推進!

老朽化が進む千葉市民会館の建て替えは、JR千葉駅南口に隣接するJR千葉支社跡地のJRが再開発する施設に市民会館が入る形で一体的に整備されます。

これまで市としては、新市民会館には、1500席程度の大ホールや300席程度の小ホール、リハーサル室などを備えることを検討し、建設費は、その建物全体の専有面積により算出されるようで、概算では、約120億円程度と想定しています。現時点の市民会館の開業は2027年度(令和9年度)の予定とのことです。

計画建物

市民会館等	宿泊
	業務
	商業
駐車場等	

位置図

